

3 医薬品処方患者数の予測

	処方患者数	処方患者数T	eディテリング実施有無	MR面会回数	重点営業活動
2011年2月	67	60.5	1	320	1
2011年3月	61	59.8	2	260	2
2011年4月	52	59.3	3	214	3
2011年5月	65	59.0	3	333	2
2011年6月	51	58.8	3	272	2
2011年7月	70	58.6	3	340	1
2011年8月	52	58.4	3	344	2
2011年9月	50	58.3	1	308	3
2011年10月	57	58.1	2	280	3
2011年11月	54	58.0	3	252	1
2011年12月	49	57.9	3	201	2
2012年1月	60	57.8	3	441	3
2012年2月	65	57.7	3	435	1
2012年3月	47	57.7	3	245	2
2012年4月	66	57.6	3	397	3
2012年5月	65	57.5	1	323	1
2012年6月	68	57.4	2	409	3
2012年7月	50	57.4	3	304	1

データ単位	人	分類	回	分類
-------	---	----	---	----

分類数	3	3	3
分類名	実施当月 実施翌月 未実施	～250回 ～350回 ～500回	電話 説明会 資料渡し

最終月のトレンドと同等

	処方患者数T	eディテリング実施有無	MR面会回数	重点営業活動
シミュレーション	57.4	実施翌月	250回	電話
	57.4	未実施	250回	電話
	57.4	実施翌月	350回	電話
	57.4	未実施	350回	電話
	57.4	実施翌月	450回	電話
	57.4	未実施	450回	電話

	処方患者数	eディテリング実施有	MR面会回数	重点営業活動
シミュレーション	57.4	2	250	1
	57.4	3	250	1
	57.4	2	350	1
	57.4	3	350	1
	57.4	2	450	1
	57.4	3	450	1

- 1 実施当月

2 実施翌月

3 未実施
- 1 電話

2 資料渡し

3 説明会

処方患者数T	eディテリング実施有無	MR面会回数	重点営業活動
0	3	0	3
	実施当月 実施翌月 未実施		電話 説明会 資料渡し

量的データの分類化

		3	
		250	
		350	
		500	

← 説明変数の種別

← カテゴリー名(分類名)

← 分類数

← 上限値

量的データで分類別の解析をしたい場合、各分類の上限値を指定する。

量的データと質的データが混在するとき指定する。
質的データの場合は分類数。
量的データの場合は

トレンドを固定にするために「拡張型数量化1類」を適用。
ただし、トレンドは「予測モデル式」を行い、トレンドの結果をコピーする。

タイムラグ指定を使わず、この例のようにデータを1ヵ月ずらして分析して

形式 データ 校閲 表示 開発 マルチ予測 Ver1.0

拡張型数量化1類 ニュアル/終了

予測モデル式

拡張型数量化1類

目的変数 '5'!\$B\$3:\$B\$21

説明変数 '5'!\$C\$3:\$F\$21

説明変数の種別 '5'!\$N\$5:\$Q\$5

説明変数の削除

変数選択法

☒ しない

☐ 総当り

追加情報の検定

☐ する

☒ しない

量的データの分類化

☒ する

'5'!\$N\$12:\$Q\$15

タイムラグ

☐ する

カテゴリー名の表示

☒ する

カテゴリー名範囲

'5'!\$N\$7:\$Q\$9

OK

キャンセル

時期表示

時期形態 ☒ 月次 ☐ 四半期 ☐ 年次 ☐ No.

開始時期 2011 年 2 月(期)

数値以外のデータ処理

☒ 除外して続行

☐ 中止

0件のカテゴリーの処理

☒ 除外して続行

☐ 中止

予測

☒ する

予測時期の説明変数データ範囲 '5'!\$I\$14:\$L\$19